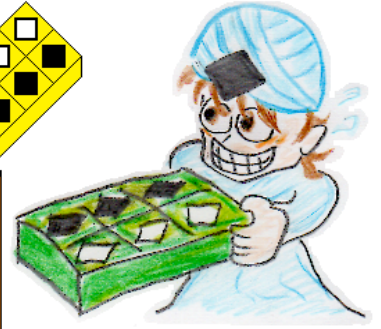
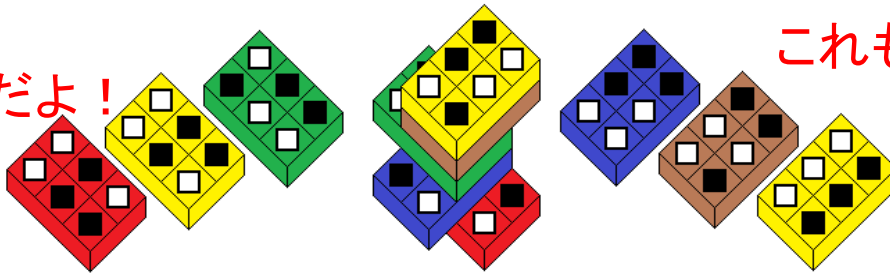
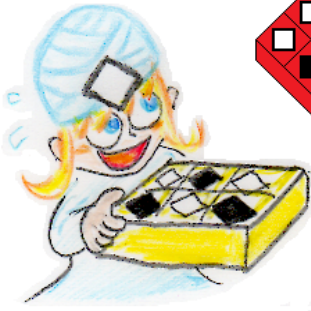


別ルールの
「ルール2」だよ！

これも2～4人用！



ダイヤの箱

★「ダイヤの箱」のルール2

- (1)50枚のカードをシャッフルし伏せて山札にします。
- (2)山札からカードを2枚取り、右図のように中央に初期配置します。
- (3)残りの山札48枚を、各プレイヤー(2～4人)に平等に配ります。(山札は無くなります。)
各プレイヤーは配られたカードの表側を見ずに、「自分の山札」とします。
- (4)各プレイヤーは「自分の山札」から初期手札5枚を取ります。
(「ダイヤの箱」の通常ルールと違い、手札は常に非公開であり、自分の手札のみ確認できます。)
(「あんちっく」製カードの場合、手札が透ける場合もあるので、手の平で上手く隠してください。)
- (5)後述のルール(■部分)に従い、
各プレイヤーは中央のカードに手札のカードを重ねていきます。
一番先に手札のカードを0枚にしたプレイヤーの勝利です！

<初期配置例>



■順番のルール

「じゃんけん」で順番を決めて、そこから時計回りにカードを基本1枚ずつ重ねていきます。
一番最後の順番のプレイヤーは、中央のカード群(初期配置時は2枚)から色を選び、
ゲームスタート時の「指定色」とします。

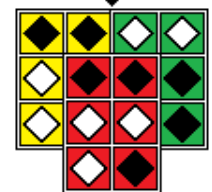
<4マス重ねの例>



「指定色」: 緑で



を重ねる



「ダイヤの箱」の通常ルールの
ペナルティーは無いです。

■カードを重ねる際のルール

- 1、ダイヤの色が、重ねようとしている下のダイヤと色が一致していないといけません。
- 2、カードの枠の色が、重ねようとしているマスに1マスでも同色がある場合、
そこに重ねることはできません。(違う色のカードしか重ねられません)
- 3、重ねようとしているマスに1マス以上「指定色」を含まないといけません。
- 4、重ねるマスは4マス以上重ねないといけません。
- 5、カードを1枚重ねたら、すぐに「自分の山札」からカードを1枚引き手札に加えてください。
(すでに「自分の山札」が無い場合は、やらなくてOKです。)
- 6、カードを重ねられない場合、重ねたくない場合は「パス」を宣言し、
次のプレイヤーのターンになります。
「パス」しても、次の周回では、再びカードを重ねる事が出来ます。
- 7、基本は1枚重ねたら、次のプレイヤーのターンになります。
しかし、6マス重ねが成功した場合は、「ボーナスターン」として、
もう一度自分のターンになります！(何連続でも使用可能！)

■「指定色」変更のルール

以下の条件になったら、「指定色」を変更しなければいけません。
「指定色」は、中央のカード群にある色から選びます。(直前と違う「指定色」にしないといけません。)

- 1、中央カード群から「指定色」が全て消えた場合、最後に出したカードが…
4～5マス重ねの場合:最後にカードを出したプレイヤーが「指定色」を変更し、その次のプレイヤーのターンで再開します。
6マス重ね成功の場合:最後にカードを出したプレイヤーの前のプレイヤーが「指定色」を変更し、
再び、最後にカードを出したプレイヤーの「ボーナスターン」で再開します。
- 2、全員が「パス」した場合、
最後にパスしたプレイヤーが「指定色」を変更し、最初にパスしたプレイヤーのターンで再開します。

(その他)

どうしても「指定色」の変更が出来ない場合や、全員カードが出せない状態に陥った場合は、
膠着状態として「引き分け」としてください。

★免責事項

「ルール」に重大な欠陥が見つかった場合は、
変更される可能性もあります。ご了承お願いいたします。

★ルール考案者:ていー(TEE)

★製造メーカー:ゲームメーカー「あんちっく」

<http://antic-main.com/>